

## イベントの報告

### 第4回flier要約読書会

1月27日（火）19時から20時の間、経堂図書館ビジネスコーナーにて、第4回flier要約読書会を開催しました。

まず自己紹介代わりになぜ参加してみようと思ったか皆様にお話しいただきました。その後、本の要約サービス「flier」の概要説明を挟み、全員で同じ課題本を読んで読書会を行いました。今回は幅広い年齢層の方々にご参加いただき、色々な角度からの活発な話し合いができました。

今後も読書会のイベントは継続予定ですので、次回開催時もぜひご参加ください。



## 展示コーナーのご案内

毎月、異なったテーマに沿って本の紹介をする、展示コーナーを館内に設けています。ご来館の折にはぜひどうぞ。

### 一般展示

#### 図書館員のおすすめ

展示期間：3/20～5/20

### ビジネス展示

#### 世界経済

展示期間：2/20～4/15

展示場所は変動する場合がございます。ご了承ください。  
展示場所：ビジネスコーナー付近のブックトラック

経堂図書館  
ニュース

# 本の駅

2026年3・4月号  
通巻85号



## 愛と知識の日

スペイン・カタルーニャ地方に伝わる英雄、サン・ジョルディの勇気と騎士道精神を記念して、4月23日をサン・ジョルディの日としました。

この日は、勇気と愛の「赤いバラ」と知識と創造の「本」をお互いに送り合い絆を深める日です。

知識は心も豊かにしてくれますね。

## 大人のための朗読会

ボランティア団体の朗読による『大人のための朗読会』を開催しています  
※演目は、変更になることもあります。

3/12（木）10：30～  
もくもくの会 みなさん

《演目》  
「女下駄」 藤沢周平  
「重命る」 東野圭吾

4/2（木）10：30～  
木洩れ陽 みなさん

《演目》  
「未定」  
「未定」

本館  
です

開催場所：経堂地区会館本館  
2階 第三会議室

開場時間：10：15  
参加無料、事前申込不要、先着15名までです。  
開催が急遽中止・変更になることもあります。

## 休館日のご案内

3月19日(木) 4月16日(木)

Instagram



ホームページ  
(世田谷区立図書館HP内)



世田谷区立経堂図書館

世田谷区宮坂3-1-30

TEL 5 4 5 1 - 0 0 7 1 FAX 5 4 5 0 - 1 0 8 8

## イベントのお知らせ

### 10代がえらぶ海外文学大賞 トークイベントin経堂

「10代がえらぶ海外文学大賞」の選考委員を務める三辺律子さん（英米文学翻訳家）、鳴川浩子さん（玉川聖学院 中等部・高等部司書教諭）をゲストにお招きして、概ね10代の方を対象としたトークイベントを開催します。海外文学の入り口にぴったりのイベントです。ぜひご参加ください。

■申込フォーム



日付：3月29日 日曜日

時間：14：00～16：00

（受付開始13：40～）

会場：経堂地区会館 別館

定員：30名（申込先着順）

対象：概ね10代の方

（小～大学生まで）

（保護者・学校関係者の見学も定員とは別で受付しています）

費用：無料

申込方法：上記QRコードの申込フォーム、電話、申込書にて

※お問い合わせは経堂図書館まで

“いま”10代に  
オススメしたい海外  
文学を紹介します！  
10代がえらぶ海外文学大賞  
トークイベント in 経堂  
日時 3.29 14:00-16:00  
会場 経堂地区会館 別館  
世田谷区経堂3-1-15  
(小田急線「経堂駅」より徒歩6分)

## 地域資料の紹介

### 『世田谷みやげ2026』



出版・編集/  
公益財団法人世田谷区産業振興公社  
出版年/2025年  
請求記号/GA29

世田谷ゆかりの素材や文化をいかした、選りすぐりのおみやげカタログです。食べ物だけではなく工芸品や体験など、バラエティに富んだ商品を扱っています。たまには自分へのご褒美でも良いですね！

## はっぴいコーナー

このコーナーでは、世田谷区の障がい者施設で作られた商品、「はっぴいハンドメイド」の紹介をします！

### 風の谷プロジェクト 手作りせっけん

ひとつひとつ手作りの無添加せっけんです。お気に入りの香りを見つけて癒しのひとときを。肌弱い方もつかえます。



¥300

## 図書館員からのおすすめ本

### 『100万回死んだねこー覚え違いタイトル集』

福井県立図書館編 講談社 2024年 【BN01】



人間は誰しも間違える動物です。図書館ではたくさん本が貸し出されていますが、そんな中で覚え間違いが多いレファレンスが本のタイトルです。うる覚えなどで多くの人が直面すること。『坊ちゃん』が「僕ちゃん」になったり間違えて覚えてしまったがゆえの宿命でもある…。でも、図書館は人々のコミュニケーションの場所だと思います。本を探している方はたくさんいるので、書店や図書館はなくてはならない所だと思います。

### 『毎日読みます』

ファンボルク著 牧野美加訳  
集英社 2025年 【019ふ】



『ようこそ、ヒュナム洞書店へ』の著者の読書エッセイ。子供時代から本の世界に浸り、辛い会社員生活の中でわずかな隙間時間に本を読み、人生にとって本がいかに重要なものか気づかされたといいます。とにかく本が大好きな著者。『本があなたの目指していた場所へと連れて行ってくれますように』との願いがこめられています。

## テーマ：本

### 『作家の値段ー『新宝島』の夢』

出久根達郎著 講談社 2010年 【0247】



作家の初版やマンガ家の幻のデビュー作など古書業界に出回る本を著者の思い出とともに紹介。古本屋では作家の本にどんな値段を付けるのか、図書館や書店にはない本の味わいがわかります。名前を聞いたことのない作家も出てくるので初めて読む人々にとっては学校で渡される「国語便覧」みたいに見えるかもしれません。

### 『あのとき売った本、売れた本』

小出和代著 光文社 2023年 【024こ】



紀伊國屋書店本店の元書店員によるエッセイ。あのベストセラーの陰ではこんなことやあんなことが…！ベストセラー本も最初から売れていたわけじゃない。「この作品を売りたい。世に知らしめたい。」という人たちの想いと行動力によって売れた本もたくさんあります。

本屋の現場を覗き見しているかのようなおもしろさです。

### 『プトレマイオス一世

ーエジプト王になったマケドニア人』

イアン・ウォーシントン著 森谷公俊訳 白水社  
2025年 【289フ】



図書館の歴史の中で燦然と輝く伝説の図書館であるアレクサンドリア図書館。紀元前エジプトにその図書館を築いたのはプトレマイオス一世という人物でした。かのアレクサンドロス大王の側近でもあり、王の死後にはエジプトに300年続く王朝を築いた男の生涯とはどのようなものだったのでしょうか。歴史の中でも珍しい、図書館を造った偉人の伝記です。

### 『ブックデザイン

ー特殊印刷・加工・製本で作られた唯一無二の本たち』

サンドゥー・パブリッシング編 和田侑子訳  
グラフィック社 2023年 【022ふ】



用紙・印刷・製本・加工など、基本四角の枠に施されたデザインにはあらゆる技術が詰まっています。同じ上製本でも、重厚感や優雅さの丸背と直線的でモダンな角背ではだいぶ印象が変わって見えます。外函ならぬ外彫刻を破壊しないと本が読めない装丁も存在するようで…この四角形は自由で無限の可能性を秘めた四角形です。